

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授 1名
2. 所属 生物資源科学部 生物生産科学科 植物生産基礎グループ
3. 専門分野 植物保護（植物病理学・線虫学・害虫学）分野
本公募では、最新技術を活用した病害虫制御に関する研究に取り組める能力を有し、それを地域に還元できる人材、さらに生物生産分野への就業をめざす学生の教育と地域で発生した病害虫の診断、病害虫対策に積極的に取り組める人材を求めます。
4. 担当授業科目 [学 部] 植物保護学（分担）、害虫制御学または植物病理生態学、化学・生物学実験Ⅱ（分担）、生物生産科学実験Ⅰ（分担）、生物生産科学科研究室実験、卒業論文
[大学院] 植物医科学（分担）、植物資源開発・管理科学（分担）、生物資源科学演習、課題研究等
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和2年10月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません）
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書（本学所定の様式1による。＊）
(2)研究業績書（本学所定の様式2による。＊）学術論文は、①学術論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○をつけてください。
(3)主要論文5編（コピー可）
(4)これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要（1000字程度）
(5)教育に対する抱負（1000字程度）
(6)研究・地域貢献に対する抱負（1000字程度）
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注）＊印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和2年6月1日（月）必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※ 面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西 241-438
秋田県立大学生物資源科学部 植物生産基礎グループ 選考委員長 鈴木英治
TEL：018-872-1653（ダイヤルイン）、E-mail：esuzuki@akita-pu.ac.jp
※ 封筒の表に「生物生産科学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

（女性活躍推進行動計画：<https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/joseikatsuyaku.pdf>）

（子育て支援等行動計画：<https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/kosodate.pdf>）

今回の公募で求める人材像

生物生産科学科、植物保護分野は「安心・安全な植物を育てる」ために必要となる病虫害制御に関して、先端技術を活用した病虫害診断技術の確立と新たな防除技術の開発に関する研究に取り組むとともに、農作物の安定生産に寄与する生物生産分野への就業を導く教育を進めています。

本公募では、病虫害制御に関する研究の経験と業績を有し、学部生および大学院生の教育・研究指導に積極的に取り組む意欲があり、公設試、JA 等と連携して地域に発生した病虫害対策に積極的に取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

植物病理学・線虫学・害虫学いずれかの知識を有し、それらの生態・生理に基づいて、最新の情報を取り込みながら、診断・防除に関わる講義、実験指導ができる人材、農作物の安定生産に関わる分野への就業をめざす学生への実践的な教育に意欲のある人材を求めます。

[研究]

ゲノム情報に基づいた高精度な診断・検出技術の開発、ならび AI・IoT をはじめとした最新の情報技術を活用した研究について学内附属研究施設、公設試、企業との共同研究を推進し、総合的病虫害管理（IPM）技術の確立を導く、実践的な研究に意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

公設試、JA をはじめとした地域からの病虫害診断の要望に柔軟かつ迅速に対応できる能力を有し、診断結果に基づいた防除対策に取り組むことで地域に還元できる人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

生物生産科学科 大講座制グループ構成

基本方針：植物を中心とする生物資源の機能を最新の技術で明らかにし、バイオテクノロジーによってその優れた機能を役立つ形にするとともに生産技術の開発に貢献することを目指す。

生物生産科学講座

植物生産基礎グループ

- ・ **植物栄養分野** 土壌と植物での元素動態の解明
有用元素、有害元素の動態解析、有機性廃棄物の堆肥化、DNAによる土壌微生物分析
- ・ **植物生態生理分野** 環境に対する植物の反応から持続的な資源植物の安定生産
イネの直播栽培、水耕栽培での野菜の機能性向上、イネの冠水抵抗性、根系形成の生理学
- ・ **植物保護分野** 植物病害の発生生態を解明し、環境に優しい防除法の開発
土壌伝染性病害・空気伝染性病害・ウイルス病の分子生態的研究、分子同定、病原学

植物遺伝・育種グループ

- ・ **植物遺伝・育種分野** 植物の機能に関わる遺伝子の探索、ゲノム解読、品種改良技術の開発
イネの低温適応および重金属蓄積の分子機構、植物の突然変異体の遺伝解析と利用、植物の生命プログラムの解明、果樹の生殖生理に関わる遺伝子の解析と育種利用

植物生理グループ

- ・ **植物生理分野** 澱粉の合成メカニズムを解明、澱粉新素材の開発
貯蔵多糖生産代謝の進化機構、澱粉構造を改変した変異体米の作出と産業利用

分子シグナル制御グループ

- ・ **生物活性物質分野** 植物や昆虫など生物間の相互作用に関わる化学物資の解明と応用
生物活性物質の単離・合成、昆虫と植物との相互関係の化学的手法による解明
- ・ **植物分子情報分野** 植物の形態形成や細胞分化に必要な遺伝子の働きの解明と応用
イネの形を決めるメカニズムの分子遺伝学的解明

植物資源創成システムグループ

- ・ **植物資源創成システム分野** 二次代謝産物の医薬・化粧品への応用と植物工場での生産
環境調節・制御による生物生産の効率化、植物・地衣類の有用物質生産に関する研究